力だめしパートⅢ　小学校国語２　【書くこと】

年	組	番	名前

1

第三小学校の新聞委員の内山さんは、学校の合唱部が活やくしていることを学校新聞の記事に書くことにしました。**【学校新聞の記事の一部】**の①から④までを**一文**にまとめて書きます。書き出しの言葉に続く内容を、**二十字以上、三十字以内**で書きましょう。（書き出しの言葉は、字数にはふくみません。）

【取材した内容の一部】

① 合唱コンクールの県大会が、七月一日に開かれた。

② そのコンクールに、第三小の合唱部が出場した。

③ 第三小の合唱部は、そのコンクールで金賞に選ばれた。

④ 第三小の合唱部は、来月開かれる全国大会に出場することになった。

〜（メモが続く）〜

【学校新聞の記事の一部】

第三小☆学校新聞　平成24年7月号

第三小の歌声　全国へ

県大会で金賞

七月一日、合唱コンクールの県大会に出場した本校合唱部が、

〜（記事が続く）〜

（答え）

30字　20字

2

家庭科クラブの太田さんは、家でスイートポテトを作るために、作り方をクラブの先生に聞きに行きました。**【先生のお話】**をもとに**【スイートポテトの作り方】**をまとめ、クラブのみんなに配ろうとしています。これらを読んで、あとの問いに答えましょう。

【先生のお話】

用意する材料は、3人分だと、サツマイモ1本、バター10グラム、さとう20グラム、たまごの黄身1つです。

作り方は、サツマイモをあらってから、皮をむいて、2センチくらいのはばで輪切りにします。切ってそのまま置いておくと黒く変色してしまうから、すぐに水につけておきましょう。

次に、切ったサツマイモを煮（に）て、やわらかくなったら、ざるにあげてよく水気を切ります。冷えるとつぶしにくくなるから、熱いうちにすばやくサツマイモをつぶして、バター、さとう、たまごの黄身を入れてよく混ぜてください。

最後に、型に入れて形をきれいに整えて、焼き目がつくまでオーブントースターで焼きます。だいたい10分から15分ぐらいですね。おいしそうな焼き目がついたら、完成です。

おいしいスイートポテトを作ってください。

【スイートポテトの作り方】

スイートポテトの作り方

材料（3人分）

- サツマイモ　1本
- バター　10グラム
- さとう　20グラム
- たまごの黄身　1つ

作り方

① サツマイモをあらって皮をむく。2センチのはばで輪切りにする。

☆ 注意
ア

② サツマイモを煮る。やわらかくなったら、ざるにあげてよく水気を切る。

③ サツマイモをつぶす。材料のバター、さとう、たまごの黄身を入れてよく混ぜる。

☆ 注意
冷えてつぶしにくくならないように、熱いうちにすばやくつぶす

④ 他の材料と混ぜたサツマイモを型に入れます。形を整えてから、焼き目がつくまでオーブントースターで10分から15分焼きます。

一　**【スイートポテトの作り方】**の「作り方①」の［ア］の中に入るふさわしい内容を、「作り方③」の［　］の書き方と同じように書きましょう。

（答え）

二　太田さんが、**【スイートポテトの作り方】**を読み返してみると、作り方①〜④の説明の中で書き方のそろっていないところが見つかりました。どのように書き直したほうがよいかを説明したものとして、もっともふさわしいものを、次の**1**から**4**の中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

1　作り方①は、「だれが」という主語がぬけているので、「わたしが」という主語を書き足したほうがよい。

2　作り方②は、サツマイモを煮るための調理道具が書いていないので、「サツマイモをなべで煮る」と書いたほうがよい。

3　作り方③は、文が二つに分かれていてわかりにくいので、「〜から」という言葉でつなげて一つの文にしたほうがよい。

4　作り方④は、述語が「〜ます」となっているので、作り方①〜③と同じように「入れる」「焼く」としたほうがよい。

（答え）

3

中央小学校の平川さんの学級では、働くことの大切さについて発表し合うことにしました。平川さんのグループでは、先月、学級に招いた「かがやきの森動物園」の園長の宮本さんにあらためて話を聞くことにしました。次は、代表の平川さんが**【手紙の構成】**をもとにしながら書いている、動物園への訪問（ほうもん）をお願いする**【手紙の下書き】**です。これを読んで、あとの問いに答えましょう。

【手紙の構成】

■**前文**
（はじめのあいさつ）
季節の言葉や自分のしょうかいなど

■**本文**
（中心になること）
手紙を出す理由やお願いする内容など

■**末文**（まつぶん）
（終わりのあいさつ）
相手を気づかう言葉など

■**後付け**
（手紙の最後に付ける内容）
名前や日付など

【手紙の下書き】

木々の緑が美しい季節となりました。先日はおいそがしい中、わざわざ中央小学校までおこしいただき、ありがとうございました。わたしは、その時、学級を代表してお礼の言葉を申し上げた、六年一組の平川春美です。その後、お元気でいらっしゃいますか。

今日は、宮本さんにお願いがあり、手紙を書きました。たん任の前田先生から事前に連らくを差し上げたかと思いますが、わたしたちの学級では、働くことの大切さについて調べたことをグループごとに発表し合うことにしました。そこで、わたしたちのグループでは、動物と関わる仕事についてくわしく調べて発表しようと考えました。

つきましては、

A

そのために一度、宮本さんの職場にうかがわせていただくことはできないでしょうか。勝手なお願いで大変申しわけありませんが、ほう問ができるかどうか、お返事をいただければと思います。

お返事には、

B

お返事の内容を確かめさせていただき、そちらへうかがう日時について、できるだけ早くお電話を差し上げるようにします。

ご迷わくをおかけしますが、ご協力をいただけますよう、どうかよろしくお願いします。これからもお体に気をつけてお過ごしください。

ア

イ

ウ

一　平川さんは、**【手紙の下書き】**の**本文**の一部に、宮本さんに教えてもらいたい具体的な内容を書こうとしています。A の中に入る内容として最もふさわしいものを、次の**1**から**4**までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

1　先日、宮本さんが話してくださった動物園の仕事について、わたしたちだけでなく、地域のみなさんにも知ってほしいと考えました。

2　動物園の仕事をはじめられたきっかけ、動物と関わる仕事の喜びやご苦労などについて、くわしくお話をしていただきたいと思います。

3　先日の宮本さんのお話やこれまで調べたことをもとにして、分かりやすい発表になるよう、グループで力を合わせて準備を進めています。

4　宮本さんのお話をお聞きして、かがやきの森動物園にいる動物の種類や名前、それらの特ちょうなどがとてもよく分かりました。

（答え）

二　平川さんは、**本文**の B の中に、宮本さんからどのようにして返事をもらうかということについて書こうとしています。次の**【平川さんが書いたメモ】**の内容をもとに、あとの条件に合わせて書きましょう。

【平川さんが書いたメモ】

●返事のもらい方…ふうとうの中のはがきを返事に使ってもらう。
●返事の内容　…ほう問ができる場合→六月の土曜日か日曜日で、宮本さんのつごうがよい日時をはがきに書いてもらう。

〈条件〉
○　**敬語（相手に敬意を表す言葉）を用いて書くこと。**
○　**「お返事には、」に続くように、六十字以上、八十字以内にまとめて書くこと。**
※◆の印から書きましょう。とちゅうで行を変えないで、続けて書きましょう。

◆

80字　60字

三　平川さんは、手紙の**後付け**を書こうとしています。**【手紙の下書き】**の ア ・ イ ・ ウ の中に、どのような内容を書くとよいですか。次の**1**から**3**までの中からそれぞれ一つ選んで、その番号を書きましょう。

1
中央小学校　六年一組
平川　春美

2
かがやきの森動物園
園長　宮本　真一　様

3
平成二十四年五月七日

ア
イ
ウ